

下水道管路調査の効率的なデータの蓄積手法に関する調査研究
受託事業者選定基準

1. 選定方法

(1) 審査は、以下の当局委員 5 名で行います。

- ・ 上下水道局下水道部計画課長
- ・ 上下水道局下水道部計画課企画係長
- ・ 上下水道局下水道部計画課担当係長
- ・ 上下水道局下水道部管理課管路情報係長
- ・ 上下水道局下水道部設計課管路第 2 係長

(2) 提出書類及びヒアリング審査結果に対し、2.(3)評価項目及び配点に基づき、委員 1 名当たり 100 点満点で採点し、その合計点を当該提案者の評価得点 (500 点満点) とすることで審査を行います。ただし、評価得点が 300 点未満である場合は、受託候補者として選定しません。

(3) 見積金額が契約の上限額を上回る場合は失格とします。以下 2.(3)に示す評価項目のとおりに、税込みの見積額の最低価額を満点とし、比例配分方式により評価 (小数点以下第 2 位を四捨五入) します。

2. 技術評価項目の採点方法

(1) 選定委員は、各技術評価項目について 0~3 で評価を行い、評価係数に評価項目の重みを乗じたものを技術評価点数とします。

(2) 評価ごとの評価係数は、下表のとおりとします。

評価	評価係数	評価内容
3	5	本業務の目的・内容を踏まえた具体的な工夫が見られるとともに、根拠も示されており優れている。高度の能力を有している。
2	4	本業務の目的・内容を踏まえており、一定満足できる。業務を遂行する能力を有している。
1	3	本業務の目的・内容を踏まえているが、工夫が見られず業務を委託することに不安がある。やや能力が劣っている。
0	0	本業務の目的・内容が踏まえていない。本業務の目的・内容が踏まえていない。 技術評価項目「追加提案」については追加提案がない場合に該当。

(3) 評価項目及び配点

評価項目		評価内容	重み	点数
技術 評価 項目	事業者の能力	<ul style="list-style-type: none"> 本業務の実施に係る実績は十分か。 本業務を遂行する上での体制は十分か。 	2	10
	本調査研究に対する理解・計画性	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容が本業務の委託目的等との整合性が取れており、的確であるか。 業務達成のために、具体的な作業手順や日程、役割が定められているか。 	2	10
	本システムの操作性	<ul style="list-style-type: none"> GIS（地理情報システム）及び操作画面は使用者にとって分かりやすいものとなっているか、操作しやすい工夫がされているか。 操作端末から容易にアクセスできるシステムであるか。 	4	20
	本システムの機能性	<ul style="list-style-type: none"> 他社サービスとの連携に関する具体的な実証実験ができるか。 	4	20
		<ul style="list-style-type: none"> オンライン・オフライン環境下での動作検証が可能か。 	4	20
	機能の追加提案	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書に示した機能要件、非機能要件以外に魅力的・効果的な機能や事業者独自の機能の提案がされているか。 	2	10
価格 評価 項目	見積金額 調査費	<ul style="list-style-type: none"> 税込みの見積額の最低価額を満点(10点)とし、比例配分方式により評価する。なお、評価点数は、小数点第2位を四捨五入とする。 (評価方式) 本市上限額 : X 最低価額 : A 評価対象価額 : B $\text{評価点数} = 10 - (B - A) \div (X - A) \times 10$	—	10
合 計				100